

討論

反対討論

今回の議案には災害復興の予算も組まれている。災害の原因解明や復旧計画・復興計画・防災計画、今後安心して暮らせるまちづくりが必要で、予算については聖域を作らず暮らしと福祉を最優先で願う。また決算認定には図書館の指定管理委託料として1億6000万円という多額

の予算が執行された。市民に何のプラスにならないマインバー関連費用や、吉備国際大学へ広報費補助金など1億円も執行されている。他の市民生活の応援と比較して特に優先されており問題と考える。また市民生活に直結した国保税の引き上げが含まれており反対する。

(石部議員)

賛成討論

提案された全ての議案に賛成する。財政は健全に運営され、各重要事業も着実に進められたと認める。しかし7月豪雨災害等により今後の財政運営は厳しくなる、一層の行財政改革と一日も早い災害復旧と復興を求める。

今回の災害の原因は集中豪雨と土砂の堆積とダムの

放流であると考え。河川への土砂の堆積により、今後まとまった雨が降ると水量が増加して堤防を越える心配がある。河川の土砂の取り除きは、復旧復興に向けて重要な課題である。また、市はダム管理者と河川管理者と協議を行い解決に向けた対応を求める。

(三村議員)

12月定例会で賛否が分かれた議案等の議決結果

○賛成 ●反対

件名	伊藤	森	平松	森上	三村	黒川	石田	石部	石井	内田	宮田	森田	倉野	川上	宮田	川上	大月
平成29年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民生活と地方自治を破壊する「憲法改正」に反対する意見書の提出を求める請願	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●
消費税10%への増税中止の意見書を政府に提出することを求める請願	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●

◎他の議案は全会一致で可決しました。 ◎議長は裁決に加わりません。

全員協議会報告

平成30年11月22日に、全員協議会が開催されました。主に、「成羽複合施設（仮称）」の建設について、「平成30年7月豪雨災害の復旧状況及び復興計画について」という事項について執行部より説明がありました。後者は現在計画を策定中のため、質疑は行われませんでした。

成羽複合施設（仮称）の建設について

Q 100億円を超えるような災害が起きた後で、この事業を進める必要があるのか。

A 本事業については、財源を確保して継続的に計画を進めている。すでに発注の段階に至っており、今後消費税の増税があるため、時期をずらすとさらに費用の増加が見込まれるため進めていきたい。

Q この事業を進めることで、さらに財政が厳しくなるのではないか。

A 災害対応をする中で、財政計画も協議をしながら進めていきたい。健全財政への取り組みは継続的に続けていく。

Q 市民感情を考えると、理解が得られないのではないか。財源は大丈夫でも、なぜこちらを優先するのかという説明がまだ不足しているのではないか。

A 基本は災害復旧を第一に考えている。地域住民に対する説明は今後も続けていく。

マイ・タイムラインについて普及を進めるべきではないか

答弁：
家族でマイ・タイムラインを作ることとは有効であるので普及啓発していきたい



川上 博司議員

ここをききました

- 防災・減災対策について
- 立地適正化計画について
- 空き家対策について

マイ・タイムラインについて

川上 災害発生時に、自分自身とる標準的な防災行動を時系列的に整理してとりまとめたマイ・タイムラインを本市でも普及すべきではないか。

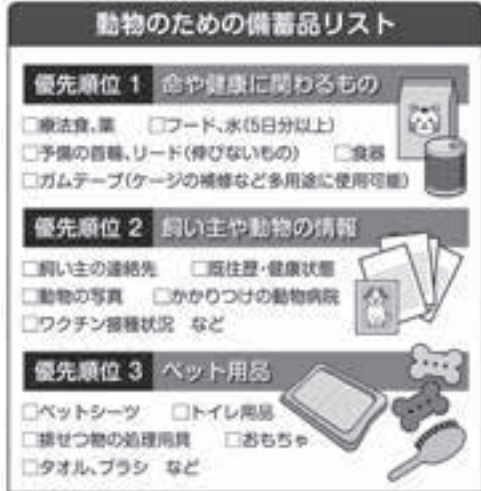
総務部長 行政としてタイムラインは作っているが、家族でマイ・タイムラインを作ることとは有効であるので普及啓発していきたい。



ペットの同行避難について

川上 災害発生時のペットの同行避難や適正な飼養管理について、飼い主に対し普及啓発すべきではないか。

市民生活部長 飼い主に対し、普及啓発に努めていく。



市は昭和47年災害の教訓をどのように生かしてきたのか

答弁：
河川改修、道路整備、ケーブルテレビ、メール配信、防災ラジオなどを整備してきた



森上 昌生議員

ここをききました

- 平成30年7月豪雨災害における市の対応について
- 7月豪雨をうけ高梁市の将来像がどう変更されシミュレートしているのか
- 城主猫の扱いと、動物愛護について

7月豪雨災害における市の対応について

森上 地勢の変化に対応した対策はなされているのか。

総務部長 情報伝達を高度化した。ハード事業を整備してきた。今回の豪雨は想定を超えた豪雨なので、今後検証していく。

森上 復旧事業が進められる中、成羽複合施設（仮称）の建設が優先される理由は。

副市長 優先順位を判断するのに、他事業と条件比較をして全て条件が整っていると判断した。

森上 地域の強い要望があったとのことだが。

副市長 総合計画、合併に係る基本計画に位置づけをなされているのは、そういった積み重ねの証と

7月豪雨後の高梁市の将来像について

森上 高梁の人口減少に対するシミュレーションは。

政策監 国の研究の動向も踏まえながら、人口減少に対応する施策を練っていく。

森上 人口減少に起因する負のスパイラルにどう対処するか。

副市長 類似の団体に学び、住民と共に考える。

城主猫について

森上 城主猫について市はどう対応するのか。

産業経済部長 城主猫の取り扱いに関しては観光協会の取り組みを見守りたい。